

A Study of Revival Education in Inner and Coastal Iwate Elementary School

英語科4年 ホール研究室 三浦恵里佳

1. Introduction

東日本大震災後、自分の命を自分で守ることが今まで以上に大切であると考えられるようになった。そのため、文部科学省は2012年から復興教育を学校教育の中に位置づけ、今現在、岩手の学校現場では県を挙げて「いわての復興教育」に取り組んでいる。

私は震災から、岩手県の安全教育の素晴らしさや復興に立ち向かう人々の姿に感銘を受けた。そこで、自身が沿岸出身ということもあり、将来小学校教員になる身として復興教育に重点的に取り組みたいと考えるようになった。内陸と沿岸とでは、行われる復興教育の内容や重視されていることなどが違っているのではないかと私は疑問を抱いている。それ故この研究では、内陸や沿岸における復興教育の違いやそれぞれの在り方、重視されていることなどについて研究していく。

1-1 復興教育 in English

いわての復興教育プログラムでは、復興教育は英語で Reconstruct Education と記されている。reconstruct の意味は to build or form again after it has been damaged or destroyed である。(Oxford 英英辞典より) 一方で、revival の意味は an improvement in the condition, strength, or fortunes of someone and something である。私は、復興教育とはただ建物の物理的な復興だけではなく、被災者を支援し生きる力を再び取り戻す過程を通して、人づくりをしていくことなのではないかと考えている。そのため、この論文では、復興教育を **Revival Education** と定義し、研究を進めていく。

2. Literature review

2-1 復興教育とは

文部科学省：東日本大震災の教訓を踏まえ、被災地の復興とともに、我が国全体が希望を持って、未来に向かって前進していけるようにするための教育。

岩手県教育委員会：郷土を愛し、その復興・発展を支える人材を育成するために、各学校の教育活動を通して、3つの教育的価値（いきる・かかわる・そなえる）を育てること。

復興教育とは、これまでにない新たなことを始めるということではない。また、リカバリーの教育でもない。東日本大震災後の体験から得られた3つの教育的価値を育てることであり、今までの教育を補充・充実させることである。

そのため、この論文では、**復興教育とは3つの教育的価値を育てることを通して、復興・発展を支える人づくりを行う教育**と定義する。

2-2 具体の21項目

3つの教育的価値をさらに細かく分類したものを、**具体の21項目**という。その概要は下記の通りである。

いきる：①かけがえのない生命 ②自然との共生 ③価値ある自分

④夢や希望の大切さとやり抜く強さ ⑤自分の成長 ⑥心の健康 ⑦体の健康

かかわる：⑧家族のきずな ⑨仲間とのつながり ⑩地域とのつながり

⑪ボランティア・救援活動 ⑫自分と地域社会 ⑬復旧・復興のあゆみ

⑭災害に備える地域づくり

そなえる：⑮自然災害の様子と被害の状況 ⑯自然災害発生のメカニズム

⑰自然災害の歴史 ⑱災害のライフライン・地域経済への影響

⑲災害時における情報の収集・活用・伝達

⑳学校・家庭・地域等での日頃の備え ㉑身を守り、生き抜くための技能

2-3 Research Question

1. 内陸と沿岸の小学校の復興教育における授業実践の違いは何か？
2. どのような要素が内陸と沿岸の復興教育で重要視されているのか？

3. Methodology

3-1 Participants

岩手県内の内陸部に位置する小学校 A、沿岸部に位置する小学校 B

3-2 Data Collection

学校の研究資料、学校公開時で参観した授業データ(授業記録、板書等)、教職員へのアンケート(A 学校)

3-3 Data Analysis

- ・研究 資料：目標、活動、成果の違いなどを分析する。
- ・授業データ：具体の21項目と比較し、どの項目が含まれているのかを分析する。そのうえで、内陸と沿岸の復興教育の違いを明らかにする。
- ・アンケート：復興教育に対する教職員の意識や理解を分析する。そのうえで、復興教育を行ううえで教職員が重視していることを明らかにする。

4. Findings

研究資料や授業データについては、現在分析中。

アンケートは先日郵送し、来週中に A 小学校に取りに伺う予定。

5. Further Work

研究資料や授業データ、アンケート結果を分析する。Discussion について考察する。

6. References

・文部科学省. (2012). 『「復興教育支援事業」について』. 文部科学省.

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/siryu/_icsFiles/afieldfile/2012/06/19/1322286_s2.pdf

・岩手県教育委員会. (2019). 『いわての復興教育プログラム 第3版』. 岩手県教育委員会.

・国立教育政策研究所(編).(2012). 『震災からの教育復興』. 株式会社 悠光堂.

・Oxford University Press. (2005). 『Oxford Dictionary of English』. Oxford University Press.